

平成 22 年度 第 2 回理事会議事録

期 日 平成 23 年 2 月 5 日（土） 14:00～17:00
場 所 (株)開発工営社会議室
出席数 理事 27 名の内、出席 22 名、欠席 5 名

冒頭、理事長より本年度を以て、関東協会への借入金が完済することと、各位の協力に対し感謝する旨の発言があった。

議 事

1.平成 22 年度事業報告について

- ・ 各委員長より、事業報告について資料に基づき説明があった。
- ・ メディカル・安全対策委員長が欠席のため説明は次回の理事会で行うことになった。

2.平成 22 年度会計状況について

- ・ 会計担当理事から、現時点までの会計状況、平成 22 年度登録者、平成 22 年度傷害者について報告があった。
- ・ 現時点までの会計状況については、今年度予算は、50 万円の赤字予算を組んだが、登録料の減少による収入減に対して、各事業での経費削減、有料試合（関東学院大学対明治大学）トッリーグ（サントリー対 NEC）、北海道選手権大会、第 40 回北海道選手権大会記念ポロシャツの収益で 30 万円となる見通しである。
- ・ 平成 22 年度のチーム登録者数及び個人登録者数については、チーム登録数が高校で 4 校減少し全体では 9 チームが減少した。個人登録者数については 207 名の減少となった。

3.平成 23 年度事業予算について

- ・ 会計担当理事より、平成 23 年度会計予算の策定と選手登録等のオンライン化について説明があった。
- ・ 平成 23 年度予算申請が全て揃っていないため次回の理事会に予算案を提出する。予算案の策定は、理事長、副理事長及び会計担当理事に一任する要請があり承認された。
- ・ 平成 23 年度チーム・競技者登録は、インターネットを利用した登録システムに移行されることになる。北海道協会は、各支部単位で取りまとめを行うことになっており、会計担当理事が 2 月 20 日に日本協会での説明会に参加し内容を確認した後に、各支部との説明会を開催する。

4.平成 23 年度事業計画について

- ・ 庶務担当理事より、各委員会の事業計画案についての資料が示され各委員会と確認した。次回理事会で事業計画を確定する予定であるので決定次第、庶務担当理事に報告する様依頼がされた。

5. 規約の一部改正について

- ・ 庶務担当理事より、規約の一部改定について資料に基づき説明があった。
- ・ 協会規約第 12 条の役員の任期に、会計監事の任期を 2 年と定めることを追加することが提案され承認された。

6. 安全推進講習会

- ・ コーチソサエティ委員長より、安全推進を更に向上するため、今年度から実施する安全推進講習会の開催方法について、資料を基に説明があった。
- ・ 安全推進講習会は、安全推進講習会運営委員が支部ごとに所属チームのコーチ資格者（実際に指導にあっている者）を集めワークショップ講習会を実施し、その後を受講した各チームのコーチ資格者がチームのスタッフ・選手全員を集めて安全推進講習会を実施する。
- ・ 支部で受講した各チームのコーチ資格者には受講者登録証を発行する。
- ・ 各チームは安全推進講習会を実施し、受講者アンケート、チーム伝達報告書を所属する支部に提出する。支部は書類を確認しアンケートを集計しその集計結果を安全対策委員長に提出する。
- ・ 安全推進講習会は、チーム登録最終日が 5 月 31 日となっているためそれに間に合うように日程を設定すること。まずは各支部で安全推進講習会を開くことが必要となるため、各支部と安全対策委員長は、各チームが期限までに実施できるように、支部開催の安全推進講習会の実施日を早急に設定することが要請された。
- ・ 注意点としては、これまでは支部で行われた安全推進講習会のチームからの受講者はコーチ資格者でなくても受講できたが、今回からはコーチ資格者（実際に指導にあっている者）が受講しなければならない。

7. 国体（少年の部）北海道予選会の日程の変更について

- ・ 高校委員長より、国体（少年の部）北海道予選会の日程の変更について資料に基づき説明があった。
- ・ これまでは 4 日間で実施してきたが、高校 1～3 年生まで一貫した指導が確立してきたため平成 23 年度は 2 日程度に短縮して十勝支部で開催する案が提出され承認された。

8. テレビ放映について

- ・ 高校委員長より話題提供として、試合のテレビ放映について資料が提出された。
- ・ 今年度の第 90 回全国高校ラグビー大会都道府県予選決勝戦でのテレビ放映が行われなかったのは開催地 55 都道府県の内、北海道と 6 県だけであった。テレビ放映はラグビーファミリーの増大、普及育成に大きな貢献があることから北海道でもテレビ放映が実施できるように関係者の協力の要請があった。

9. 女子ラグビーの活性化について

- ・ 高校委員長より情報提供として、女子ラグビーの活性化について資料に基づき説明があった。
- ・ 全国高体連ラグビー専門部に登録している女子選手は 72 名であるが、北海道はゼロである。

- ・ 日本協会では 2016 年リオデジャネイロオリンピックに男女ラグビーセブンズが採用されることを受け「全国高校合同チームラグビー大会」に女子セブンズの部を新設する動きがある。
- ・ 高校委員会では、女子ラグビーの底辺拡大を目指し、高校女子部員の勧誘、高校への練習メニューの配信、上磯バンビとバーバリアンズの女子選手の指導要請、練習試合及び公式戦の開催などの普及と強化に取り組む。また、条件が揃えば国体北海道予選会で女子ラグビーをやりたいとの意向が示された。
- ・ 北海道協会としても高校だけでなく女子ラグビーに取り組むことが確認された。

10. 北海道高校春季ラグビー交流試合

- ・ 高校委員長より、北海道高校春季ラグビー交流試合の開催要項について資料に基づき説明があった。
- ・ 今回から、強化体制の一環として、青森県内の高校にも案内を出し現在 7 校程度の参加希望が出されていることが紹介された。

11. 北海道中学校選抜の東北遠征について

- ・ 普及育成委員会中学校担当委員より、北海道中学校選抜の東北遠征について資料に基づき説明があった。
- ・ 遠征拠点は秋田県で、秋田県では中学の単独チームが 10 校程度あり、強化と交流を目的に、東北交流大会開催時期に合わせて 4 月下旬の遠征を計画している。
- ・ 北海道協会の公認事業として遠征することが承認された。

12. プレセブンズ実施報告

- ・ 競技委員長より 8 月開催したプレセブンズについて資料に基づき報告があった。
- ・ 日本協会からの講師によるクリニックを受けてみて 15 人の延長でなく、15 人と 7 人制の違いを理解して取り組まなければならないとの報告があった。
- ・ 来年度は、北海道協会として、大会内容、大学のスケジュール調整を含め参加チームの問題点を解決するためにプレで検討することが確認された。
- ・ 北海道協会の体制として、7 人制については、女子も含めるものとし強化委員会で担当することが決定した。また、関連して女子ラグビーを北海道協会として積極的に取り組む上での問題点などについて大学、高校も交えて検討を行い、関東協会と意見交換を行うことが確認された。

13. 国際交流試合について

- ・ 高校委員会委員より、国際交流試合の予定について説明があった。
- ・ 札幌山の手高校が姉妹校となっているニュージーランドのセントビーズ高校と 4 月 25 日に札幌支部主管により交流試合を行うことについて説明された。

14. 今後の会議予定について

- ・ 庶務担当理事より、平成 22 年度第 3 回理事会を 3 月 26 日（土）14:00 から（株）開発工営社で開催する予定であること、最終の理事会を 4 月 17 日（日）11:00 から（株）開発工営社で行い、評議委員会を 13:30 からアスティ 45 ビル 10 階会議室で開催する予定であることが報告された。

以上